



直売所への支援による地域内自給率の向上や、天草宝島物産公社と連携した直販体制による、農畜産物の売り上げ向上、消費拡大に努めてまいります。

**林業の振興**については、持続可能な森林経営により、適正に管理された森林の利用と保護を旨としてまいります。

また、天草産材を利用した新築・増改築に対する「天草産材利用促進事業補助金」を継続することにより、天草産材の積極的な利用を促すとともに、公共事業などにおいても、(仮称)本渡東小学校の2階部分を木造の構造とし、天草産材を活用するなど、天草産材の利用を推進してまいります。

このほか、林業関連団体と連携し、間伐材などを利用した製品の開発や販売、供給体制の構築を支援し、天草産材の需要拡大による林業の活性化と関連産業の雇用促進、林業の担い手の育成を旨としてまいります。

**水産業の振興**については、稚魚放流や漁場整備で水産資源の確保を図りながら、つくり育てる漁業を進めてまいります。

まず、「つきいそ」の設置や有害生物駆除等に取り組み、藻場の再生・整備を行うことで、水産資源の維持・回復に努めてまいります。

次に、収益性の高いマガキ、ヒトエグサ等の養殖事業を推進し、漁業経営の安定と漁業所得の向上につなげてまいります。

また、漁協直売所や福岡都市圏等でのPR活動を展開するとともに、学校給食へ食材の提供を行うことにより、水産物のブランド化と消費拡大を進めてまいります。

漁業後継者対策としては、県や漁協と連携しながら、新規就業者支援制度による支援対策を推進してまいります。

さらに、市内5地域で漁業所得の向上を旨として策定した「浜の活力再生プラン」の具現化に向けた取り組みを支援してまいります。

漁港整備については、利用者の安全性、利便性向上のため、浮き桟橋等の施設整備を計画的に実施し、また、施設の長寿命化対策と

して、機能保全計画を順次策定してまいります。

**商工業の振興**については、引き続き住宅リフォーム助成制度を実施し、地元事業者、特に小規模事業者の仕事づくりと市民の住環境整備の支援を行うとともに、商品券による助成を行うことにより地元消費を促し、地元事業者の支援を行ってまいります。

また、商店街の活性化を図るため、商店街等が主催するさまざまなイベントや空き店舗への入店に対する支援を行う一方、中心商店街の空き店舗の状況を調査し、移住定住も含めた起業創業の拠点など、空き店舗の活用の可能性について検討を行い、中心市街地のにぎわいづくりを進めてまいります。

さらに、陶磁器の島として産業振興を図るため、例年約3万人が集まる「天草大陶磁器展」を開催して天草陶磁器のすばらしさを天草内外に知っていただくとともに、陶磁器の島を支える人材育成のため、著名陶芸家の招聘ならびに若手陶芸家による都市圏での展示会への出展支援を行ってまいります。

**地域産業連携・支援による雇用の創出**については、「天草市起業創業・中小企業支援センター(アマビズ)」と、引き続き本渡・牛深両商工会議所、天草市商工会、天草信用金庫と連携し、さらなる地場事業者の売り上げアップや起業創業などを支援してまいります。

加えて、「天草市産業振興チャレンジ基金」を活用し、新たな事業展開に取り組み地場事業者や起業家を支援し、雇用創出に努めてまいります。

また、地域資源を活用した6次産業化は地域経済の活性化に結びつくことから、6次産業化に取り組む人や団体への支援を行ってまいります。さらに、天草産品の情報発信や受注発注窓口の一元化を図りながら、都市圏を中心としてあらゆるネットワークを通じ、販路開拓を強化してまいります。福岡都市圏における販路拡大や、天草の販売スペースを常時確保することができた、合志市の「ふるさと名物こうしマルシェ」での天草産品の委託販売など、引き続き、天草宝島物産公社との連携を強めてまいります。

〔次ページへ続く〕

# “ふるさと”天草市を創るために



2月22日から3月18日まで開かれた第1回市議会定例会の冒頭で、中村市長が市政運営の方向性を示す「平成28年度施政方針」を表明しました。方針の主な内容をお知らせします。

〔産業経済部門〕  
「創造性豊かな  
産業のまちづくり」

## 産業のまちづくり



**農業の振興**については、農業就業人口の減少やTPPに対する早期対策として、「担い手育成」と「後継者確保」、そして「生産体制の基盤強化」を中心に取り組んでまいります。

まず、「担い手育成」「後継者確保」としては、きめこまやかに新規就業者の支援を行うとともに、後継者が不在となる農家には就農希望者とのマッチングを図り、移譲を含めた持続可能な農家経営を旨としてまいります。

次に、「生産体制の基盤強化」としては、「人・農地プラン」を推進し、中心経営体への農地の集約や集落営農組織の法人化を進め、継続可能な地域農業を推進していく一方、次世代型の高生産性施設園芸の推進により、企業の農業参入、雇用創出に取り組んでまいります。

また、中山間地域の基盤整備を進め、農業の基盤強化を図り、農

業機械の導入、農業施設の機能診断に基づく計画的な長寿命化を推進し、耕作放棄地化や有害鳥獣被害から地域の農業と農地を守ってまいります。

特に、幼獣を失った母親イノシシは、秋に再度出産し、生息数減少につながらないといわれているため、幼獣捕獲の報奨金を引き下げ、その分、侵入を防ぐための対策に取り組んでまいります。

また、「安心・安全」「高品質」な農畜産物の生産性向上を図るため、国の「産地パワーアップ事業」を活用し、低コスト型屋根掛けハウス等の整備に対して助成を行うなど、ハウス施設の整備による樹上完熟不知火(アコポン)のブランド化を進めます。あわせて、天草黒牛や天草オリーブなどについても産地ブランド化を進めるとともに、有機、減農薬栽培を志向する農家グループを支援してまいります。

さらに、とれたて市場など地元